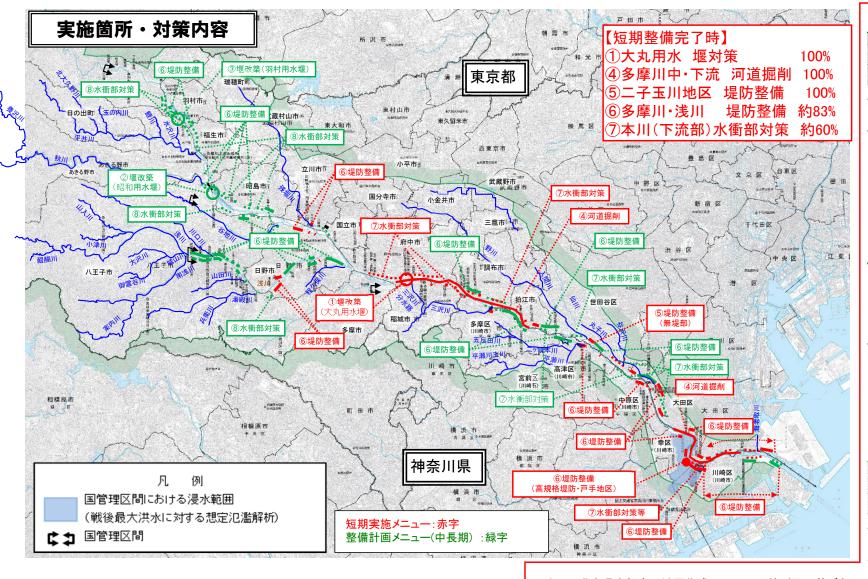
多摩川水系流域治水プロジェクト(案)

~首都東京への溢水防止及び沿川・流域治水対策の推進~

進捗と効果(R4.3版)

○多摩川緊急治水対策プロジェクトにおいて、令和6年度までに多摩川中下流部での河道掘削、大丸用水堰改築、二子玉川地区の堤防整備を完了することにより、令和元年東日本台風と同規模の洪水に対し、二子玉川地区における浸水被害の解消を図るとともに、計画高水位を超過した大丸用水堰から下流の区間において水位を低下させ、多摩川からの氾濫を防止。

短期整備効果(国直轄区間) : 河川整備率 約96%→約97%(整備計画規模)





※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

- 注: 洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版)に基づき、 多摩川(直轄管理区間)が氾濫した場合に、浸水深が Ocmより大きい浸水範囲をシミュレーションにより予測し たものである。
- 注: 想定最大規模については、平成28年5月に公表した洪 水浸水想定区域図である。
- 注: 外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。

算出の前提となる降雨 多摩川流域の48時間総雨量

高頻度 (1/10): 286mm 中高頻度 (1/30): 355mm 中頻度 (1/50): 385mm 中低頻度 (1/100): 422mm 低頻度 (1/150): 457mm 想定最大規模: 588mm

